

企業名	株式会社テクニカ		
代表者名	比留間 良太		
URL	http://www.tch2200.co.jp		
事業内容	製造業		
資本金	3,000 万円	社員数	30 名
適用法令	EU RoHS		

1.会社紹介

当社は、産業用装置を中心に電子機器の設計・製造を行っている企業です。1979年の設立以来、長年にわたり培ってきた制御技術を活かし半導体製造装置ユニットの設計・製造を柱に、メカトロニクスの分野で多くの取引先から高い信頼をいただいています。

2.製品の特徴

当社は、主に電子基板の開発、メカ機構部の設計、電子部品の実装、総合的な組立・配線、電気・電子部材から加工品の部品購入の5つの機能を保有しています。それら5つの機能を活用することにより、SMDの実装から電子機器の組立、お客様の構想を実現する装置の開発全般をサービスとして提供しています。また、電子技術を活かした自社のオリジナル製品の展開を行っています。

3.RoHS 指令等の順法の仕組み構築の経緯

1994年～：一部の顧客からの請負の量産品では、RoHS 対応が可能かどうかの問い合わせが来るようになり、RoHS 対応化の動きが始まりました。

2005年～：外部研修などによる RoHS 指令の情報収集、購入部材の RoHS 対応の調査を開始しました。

2006年～：製造ラインの RoHS (鉛フリー化) 対応化し一部製品の RoHS 対応品の製造を開始しました。

2008年～：RoHS 適用製品管理手順書を制定しました。(RoHS 適用製品が増え、作業を標準化)

4.順法の仕組みの特徴

当社は製品の要求仕様に従い従来の鉛入りの共晶はんだと RoHS 指令に適合した鉛フリーはんだを併用する場合があります、両者が誤って使用されないよ

うに、識別方法を明確にして製造しています。

<引合いから受注、製造、納品までに行われる識別管理方法>

(1) 引合い、受注：引合い、受注連絡書に RoHS 対応製品と従来の物とを区別する欄を設け、RoHS 製品である場合は、その欄に RoHS と表記し関連部署へ配付します。

(2) 設計：設計工程を管理する確認シートに RoHS 対応製品であることを表記し設計作業します。

(3) 出図、作業指示：出図連絡表、作業指示書に RoHS 対応製品であることを表記し、関連部署へ配付します。

(4) 工程間の移動：(3)の作業指示書が製品に必ず付いて工程間を移動します。

(5) 製品の保管：(4)の作業指示書を現品票として製品に添付します。

(6) 出荷：製品に RoHS 識別印を押印した現品票の添付、または納品用通い箱に RoHS を表記します。

<生産設備の識別管理方法>

(1) クリームはんだ印刷機：鉛フリーの半田を使用する製品は、RoHS の識別札を印刷機本体に貼る、RoHS 専用スキージ、ヘラ、ブラシ、洗浄用品などを準備し識別表示します。

(2) 自動半田付け装置：共晶はんだ(鉛入りはんだ)の釜、鉛フリーはんだの釜と分け、RoHS 製品のはんだ付けを行う場合は、自動はんだ付け装置の清掃作業を行った後、鉛フリーはんだの釜に入れ替えます。RoHS 専用 PC 板ガイド、点検用ガラス板、洗浄用品などを準備し識別表示します。

(3) 手作業で行う作業及びポイントソルダー(小型の噴流槽)：RoHS 専用の場所、設備を設け、誤使用を防止します。RoHS 専用はんだゴテ、ポイントソルダー、点検用絶縁抵抗温度計、洗浄用品などを準備し識別表示します。

(4) はんだの分析：鉛フリーはんだは3ヶ月に一度、鉛の含有についてはんだの成分分析を実施します。

5.今後の課題

今後自社製品の RoHS 対応が必要となった場合には、実際にその製品に規制物質が含まれていない事を当社で保証する必要がある、その解析方法を確立する事が今後の課題となります。